

〔巻頭言〕

SPF 豚の発展的解消の日

㈱サンエスブリーディング 名 越 仁 宣

日本 SPF 豚協会では、本年 6 月 15 日の定時総会において認定規則改正案を提出、了承された。

これまでの規則は、協会員でなければ分かり難かったと思うが、今回の改正では協会員以外の養豚関係者が見ても、(ある程度は) 分かり易いかと思う。

新規則で私が一番注目したのは、排除対象疾病からトキソプラズマ病がなくなり、監視疾病に格下げされたことだ。

これまで SPF 豚のことをよく知らない人から『SPF 豚って何ですか?』と聞かれると「特定の病原菌やウイルスがない、または低レベルな豚ですよ。」と言い、『特定の病気って何ですか?』と問われれば「CM 農場では、AD、マイコ、AR、豚赤痢、トキソプラズマの 5 つが対象疾病です。」と答えてきた。

これからは 4 つ答えればよいのだ。

私が養豚に携わって 30 年が過ぎたが、トキソプラズマ病に遭遇したことがない。私の中では豚コレラと同じである。わざわざ SPF 豚にはありません、と言う必要がないと思っていた。

だから、とても‘スッキリ’とした気分だ。

次は、オーエスキー病だ。日本中の養豚場から AD が清浄化され日本国内フリーとなれば、排除対象疾病から外すべきだろう。

これは、10 年後には実現しているかも知れない。

その次は、豚赤痢の番か。でも、血便を呈しな

い下痢便からも案外分離されるから、難しいかも知れない。いや、洗浄消毒の徹底と適切な抗生物質の投与で清浄化されるはずだ。

やってやれないことは無い。

そして、AR だ。しかし、そもそも AR なんて病気は鼻を切らなければ分からないのだから、鼻切断検査をしないで、日本には AR はありませんよ、と言えよいのだ。

デンマークとアメリカの養豚獣医師から『本国内には豚赤痢と AR はありません。』と聞いたことがある。『本国内にないのだから、検査もしていません。』とも聞いた。

きっぱりと‘ない’と言いつつければよいのだ。

よし、残ったのは、マイコだけだ。

マイコの清浄化は難しいだろう。しかし、排除対象疾病がマイコ一つというのも寂しすぎる。

もはや SPF を名乗る意味がなくなった。

いや、減らすことばかり考えていたが、新たに増やす、ということもあるか。

ということは、PRRS の出番か。

サルモネラも控えている。そういう風に考えていくと、はたして、SPF 豚協会が発展的に解消する日が来るのだろうか。

そんな日が来るはずがない、と思っている人たちは、イギリスが EU を離脱するとも、トランプがアメリカ大統領候補になるとも思っていなかった、はずだ。

ちょっと寂しいけど、その日を待ち望む。